

たるみ歯科通信

2017年 3月号 No.75

こんにちは、歯科衛生士の野島です。3月になりました。
もう少し寒い日が続きそうですが、春も近づいていますね。
今年の近畿の桜の開花は、平年並みからやや遅めになるそうです。
きれいな桜が咲くのを早く見たいですね 😊

さて今回の通信は、安心・安全な歯科医療には欠かせない
『滅菌（めっきん）』についてお話しします。

皆さんは「滅菌（めっきん）」という言葉を目にしたことがありますか？
滅菌とは「微生物やウイルスを完全に死滅させて無菌状態にすること」です。

治療で使う器具には患者さんの唾液や血液が付着しますが、その中には
たくさんの微生物やウイルスが含まれているので、正しい滅菌を行わない
と汚染されたままの器具を他の患者さんに使うことになってしまいます。
当たり前のことですが、治療で使った器具はきちんと滅菌して新品同様の
清潔な状態に戻さないといけません。滅菌という行為は目に見えるものでは
ありませんが、医療の現場ではとても大切なことです。

当院では、患者さんに「安全で安心できる歯科医療」を受けてもらえるよう、
“**全ての人々の血液や唾液は、感染の有無にかかわらず、
感染性があるものとして取り扱う。（スタンダードプリコーション）**”
という概念に基づいて、しっかりと感染対策を行なっています。
治療で使用した器具は、滅菌作業担当のクリーンスタッフの手によって、
滅菌可能なものは**高圧蒸気滅菌器**を用いて滅菌し、滅菌不可能なものは
高水準の消毒または廃棄をしています。



たるみ歯科の滅菌システム



《 洗浄 》

滅菌の前にまず器具をしっかりと洗浄をすることが
大切です。当院では『ミーレジェットウォッシャー』
という医療用洗浄機を使用して、器具に付着した
唾液や血液などの汚れを確実に落としてから
次の工程へと進みます。



《 器具の仕分け 》

次にクリーンスタッフによる手作業で
器具のパック詰めをし、治療で使用する直前まで
滅菌状態を保つようにします。



《 滅菌 》

『高圧蒸気滅菌器（オートクレーブ）』で、
全ての微生物・ウイルスを完全に死滅させて
滅菌完了です。

「滅菌」はとても手間と時間のかかる作業ですが、
たるみ歯科でこだわりを持って行なっていることの1つです☆

3月の予定

- ☆ 院内研修のため **17日（金）の午前** は **休診** といたします。
- ☆ 矯正診療日は **23日（木）の午後** です。

